

平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信

平成 21 年 2 月 10 日

上場会社名 横河電機株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 6841 URL <http://www.yokogawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 海堀 周造
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 市瀬 裕介 TEL (0422) 52-5530
 四半期報告書提出予定日 平成 21 年 2 月 12 日

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期第 3 四半期	272,933	—	△766	—	△5,902	—	△37,171	—
20 年 3 月期第 3 四半期	292,459	7.7	9,083	△28.4	5,139	△64.8	1,910	△64.0

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21 年 3 月期第 3 四半期	△144.31	—
20 年 3 月期第 3 四半期	7.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21 年 3 月期第 3 四半期	378,042	171,812	44.4	651.52
20 年 3 月期	444,644	224,844	49.6	856.72

(参考) 自己資本 21 年 3 月期第 3 四半期 167,820 百万円 20 年 3 月期 220,674 百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20 年 3 月期	—	8.00	—	8.00	16.00
21 年 3 月期	—	8.00	—	—	—
21 年 3 月期 (予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成 21 年 3 月期の連結業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	380,000	△13.1	1,000	△96.4	△4,000	—	△40,000	—	△155.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有

〔(注)詳細は、6 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 268,624,510株 20年3月期 268,624,510株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 11,041,385株 20年3月期 11,045,061株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 257,580,296株 20年3月期第3四半期 261,705,232株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年1月27日に公表した連結業績予想から変更はありません。
 2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。
 3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(参考) 平成21年3月期第3四半期(3か月)の連結業績
 (平成20年10月1日～平成20年12月31日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(3か月)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	76,143	△13.6	△5,745	—	△10,305	—	△40,960	—
20年3月期第3四半期	88,175	3.6	319	△91.2	△580	—	△807	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△159.02	—
20年3月期第3四半期	△3.12	—

※当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

当第3四半期連結会計期間の連結損益計算書と前年同四半期連結会計期間の連結損益計算書では、作成基準が異なるため上記前年比較に関する情報は参考として記載しています。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

米国のサブプライム問題に端を発する世界的な金融危機が実体経済の悪化と資金調達環境の悪化をもたらした結果、設備投資の減速と円高が急速に進行しており、当社グループの各事業はかつてない状況の変化に直面しております。

第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年12月31日)における当社グループの連結売上高は、これらの影響を受け2,729億33百万円と前年同期と比較し195億25百万円減少しました。これに伴い営業損失につきましては7億66百万円と、前年同期の営業利益90億83百万円と比較し98億50百万円減少しました。また、経常損失も59億2百万円と、前年同期の経常利益51億39百万円と比較し110億41百万円減少しました。

四半期純損失は371億71百万円と前年同期の四半期純利益19億10百万円と比較し390億82百万円減少しました。これは、投資有価証券のうち時価が著しく下落したものについて減損処理を行い、投資有価証券評価損39億92百万円を特別損失として計上したこと、及び現在の事業環境において、将来の課税所得の見積もりが困難となったことから、第2四半期連結会計期間末時点の繰延税金資産のうち304億62百万円を取り崩したこと等によるものです。

また、第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日～平成20年12月31日)における当社グループの連結経営成績は、売上高761億43百万円、営業損失57億45百万円、経常損失103億5百万円、四半期純損失409億60百万円となっています。

なお、当社グループの売上高は、特に制御事業において第2四半期(9月)と第4四半期(3月)に集中する傾向が強いため、第1四半期及び第3四半期の売上高の通期売上高に対する比率は低くなる傾向があります。

事業の種類別セグメントの概況は以下のとおりです。

制御事業

制御事業は、第2四半期連結累計期間まで海外市場を中心に堅調に推移しましたが、第3四半期連結会計期間に入り石油・天然ガス等のエネルギー関連や鉄鋼・石油化学製品等の産業素材の世界的な需要の減退に加え、これらエネルギー、素材価格の急落により、既存プラントにおける減産や新規プラント投資を先送りする動きが拡大しています。また、急速な円高の進行により、同事業の売上高の約65%を占める外貨建て売上高の円価相当額が前年同期と比較し減少した結果、第3四半期連結累計期間の売上高は2,180億50百万円(前年同期比13億55百万円増)と第2四半期連結累計期間と比較し前年同期からの売上高の伸びが減速しました。また、営業利益は175億96百万円(前年同期比31億92百万円減)となりました。

なお、第3四半期連結会計期間の同事業の売上高は619億63百万円、営業利益は10億98百万円となっています。

計測機器事業

計測機器事業のうち半導体テストビジネスでは、半導体価格の下落に加え実体経済の悪化による需要減により、半導体メーカーが設備投資を大幅に縮小しております。また、測定器ビジネスでも同様に設備投資抑制の動きが急拡大しています。

この結果、第3四半期連結累計期間の売上高は274億99百万円(前年同期比178億89百万円減)、営業損失は93億91百万円(前年同期比57億54百万円増)となりました。

なお、第3四半期連結会計期間の同事業の売上高は64億72百万円、営業損失は38億42百万円となっています。

新事業その他

新事業その他では、フォトニクスビジネスにおいて、次世代ネットワーク向け40Gbps基幹系光通信用サブシステムの大型受注を獲得するなど好調に推移しましたが、アドバンスドステージビジネスにおいては、半導体製造装置市場の低迷を受け低調に推移しました。

この結果、第3四半期連結累計期間の売上高は273億84百万円(前年同期比29億92百万円減)、営業損失は89億71百万円(前年同期比9億3百万円増)となりました。

なお、第3四半期連結会計期間の同事業の売上高は77億8百万円、営業損失は30億1百万円となっています。

なお、本文中における前年同期との比較は、平成20年3月期第3四半期財務・業績の概況に記載の連結経営成績との対比を行っています。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において、以下のとおりとなりました。

第3四半期連結会計期間末の総資産は3,780億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ666億1百万円減少しました。たな卸資産が122億31百万円、無形固定資産が64億2百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が479億45百万円、有形固定資産が57億83百万円、投資有価証券が66億26百万円、短期及び長期繰延税金資産が218億46百万円減少したことが主な要因です。負債合計は2,062億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ135億69百万円減少しました。長期借入金が257億8百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が91億60百万円、賞与引当金が105億40百万円、未払金が44億79百万円、コマーシャルペーパーの残高減少等によりその他流動負債が113億5百万円減少したことが主な要因です。純資産は1,718億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ530億32百万円減少しました。利益剰余金が413億11百万円、その他有価証券評価差額金が21億82百万円、為替換算調整勘定が93億60百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

(2) キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の残高は、営業活動による174億55百万円の収入、投資活動による199億86百万円の支出、財務活動による58億90百万円の収入などの結果、第3四半期連結会計期間末には306億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億88百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失104億90百万円から、減価償却費157億73百万円、売上債権の減少420億23百万円のプラス要因と、賞与引当金の減少102億52百万円、たな卸資産の増加158億29百万円のマイナス要因等の調整の結果、前年同期に比べ87億46百万円収入が増加し、174億55百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による117億62百万円、無形固定資産の取得による97億86百万円の支出等の結果、前年同期に比べ222億99百万円支出が減少し、199億86百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金260億円の資金調達に対し、配当金支払41億2百万円、コマーシャルペーパー180億円の返済等により、58億90百万円の収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年1月27日に、平成20年10月28日に発表した業績予想を以下のとおり変更しました。

制御事業では、国内市場において、実体経済の悪化から素材産業のお客様を中心に減産の動きが加速していること、また海外市場でも、エネルギー需要の増大を背景にこれまで活発に行われていた新規プラント投資を先送りする動きが拡大していることを背景に受注が鈍化しています。これに加え、円高により海外売上高の円価相当額が減少する見通しであることから、同事業の売上高予想を320億円、営業利益予想を120億円下方修正しました。計測機器事業においても、半導体需要の低迷から半導体メーカーの設備投資凍結の動きが顕著となっており、また、測定器に対する設備投資抑制の動きが加速していることから、同事業の売上高予想を90億円、営業利益予想を45億円下方修正しました。新事業においては、フォトニクスビジネスの次世代ネットワーク向け40Gbps基幹系光通信市場が活況を呈していますが、同事業の売上高の一部が来期にずれ込むと予想されることなどから売上高予想を30億円、営業利益予想を5億円下方修正しました。

これらの結果、連結業績予想の売上高を440億円、営業利益を170億円下方修正しました。経常利益に関しては、営業利益の減益に加え円高により為替差損が増加する見通しであることから、同利益の予想を200億円下方修正しました。また、当期純利益に関しては、平成21年3月期第3四半期連結会計期間に繰延税金資産のうち304億62百万円を取り崩したことから同利益の予想を下方修正しました。

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益 ／損失	当期純利益 ／純損失	1株当たり 当期純利益 ／純損失
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (10月28日)	424,000	18,000	16,000	5,000	19.41
今回発表予想(B) (1月27日)	380,000	1,000	△4,000	△40,000	△155.29
増減額(B-A)	△44,000	△17,000	△20,000	△45,000	△174.7
増減率(%)	△10.4%	△94.4%	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	437,448	27,412	16,453	11,667	44.76

注) 連結業績見通しの為替レートは、1米ドル=85円、1ユーロ=115円を前提としています。

(参考資料)

①事業の種類別セグメント 受注高 予想 (単位：億円)

事業の種類別セグメント	通期		
	前回予想	修正予想	差異
制御事業	3,550	3,020	△530
計測機器事業	450	350	△100
新事業その他	470	460	△10
合計	4,470	3,830	△640

②事業の種類別セグメント 売上高 予想 (単位：億円)

事業の種類別セグメント	通期		
	前回予想	修正予想	差異
制御事業	3,350	3,030	△320
計測機器事業	450	360	△90
新事業その他	440	410	△30
合計	4,240	3,800	△440

③事業の種類別セグメント 営業利益 予想 (単位：億円)

事業の種類別セグメント	通期		
	前回予想	修正予想	差異
制御事業	390	270	△120
計測機器事業	△115	△160	△45
新事業その他	△95	△100	△5
合計	180	10	△170

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法を採用しています。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用する方法によっています。

②四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しています。

この変更による、当第3四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微です。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。

この変更による、当第3四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微です。

④リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっています。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き適用しています。

この適用による当第3四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,988	31,738
受取手形及び売掛金	94,956	142,902
有価証券	772	301
商品及び製品	22,691	18,856
仕掛品	18,617	11,794
原材料及び貯蔵品	15,737	14,164
その他	13,936	25,864
貸倒引当金	△2,633	△3,256
流動資産合計	195,068	242,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	57,075	51,132
その他(純額)	48,684	60,410
有形固定資産合計	105,759	111,543
無形固定資産	28,438	22,036
投資その他の資産		
投資有価証券	33,639	40,266
その他	15,558	29,070
貸倒引当金	△422	△639
投資その他の資産合計	48,776	68,697
固定資産合計	182,974	202,277
資産合計	378,042	444,644
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,874	40,034
短期借入金	19,143	18,979
未払法人税等	1,066	2,604
賞与引当金	3,970	14,511
未払金	14,657	19,137
その他	38,797	50,103
流動負債合計	108,509	145,370
固定負債		
長期借入金	81,701	55,993
退職給付引当金	4,956	5,221
長期未払金	7,673	11,832
その他	3,389	1,381
固定負債合計	97,721	74,429
負債合計	206,230	219,799

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,401	43,401
資本剰余金	50,346	50,355
利益剰余金	98,640	139,952
自己株式	△10,983	△10,990
株主資本合計	181,404	222,718
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	808	2,991
繰延ヘッジ損益	4	1
為替換算調整勘定	△14,396	△5,036
評価・換算差額等合計	△13,584	△2,044
少数株主持分	3,992	4,170
純資産合計	171,812	224,844
負債純資産合計	378,042	444,644

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	272,933
売上原価	182,268
売上総利益	90,665
販売費及び一般管理費	91,431
営業損失(△)	△766
営業外収益	
受取利息	146
受取配当金	559
持分法による投資利益	526
その他	461
営業外収益合計	1,694
営業外費用	
支払利息	1,127
為替差損	3,809
その他	1,892
営業外費用合計	6,830
経常損失(△)	△5,902
特別利益	
固定資産売却益	58
投資有価証券売却益	1,335
その他	198
特別利益合計	1,592
特別損失	
固定資産売却損	16
固定資産除却損	412
減損損失	485
投資有価証券評価損	3,992
その他	1,273
特別損失合計	6,180
税金等調整前四半期純損失(△)	△10,490
法人税、住民税及び事業税	2,045
法人税等調整額	24,203
法人税等合計	26,248
少数株主利益	431
四半期純損失(△)	△37,171

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	76,143
売上原価	53,004
売上総利益	23,138
販売費及び一般管理費	28,884
営業損失(△)	△5,745
営業外収益	
受取利息	55
受取配当金	100
持分法による投資利益	119
その他	93
営業外収益合計	368
営業外費用	
支払利息	383
為替差損	3,716
その他	828
営業外費用合計	4,928
経常損失(△)	△10,305
特別利益	
固定資産売却益	36
過年度損益修正益	135
その他	37
特別利益合計	209
特別損失	
固定資産売却損	2
固定資産除却損	147
減損損失	25
投資有価証券評価損	2,324
その他	198
特別損失合計	2,698
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,793
法人税、住民税及び事業税	△114
法人税等調整額	28,320
法人税等合計	28,206
少数株主損失(△)	△40
四半期純損失(△)	△40,960

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△10,490
減価償却費	15,773
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△404
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,252
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,335
投資有価証券評価損益(△は益)	3,992
売上債権の増減額(△は増加)	42,023
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,829
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,383
その他	965
小計	20,059
利息及び配当金の受取額	1,788
利息の支払額	△846
法人税等の支払額	△3,546
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,455
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,724
定期預金の払戻による収入	3,450
有形固定資産の取得による支出	△11,762
有形固定資産の売却による収入	111
無形固定資産の取得による支出	△9,786
投資有価証券の取得による支出	△2,477
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,327
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△775
事業譲渡による収入	1,011
その他	638
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,986
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,678
長期借入れによる収入	26,000
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△18,000
配当金の支払額	△4,102
その他	△684
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,890
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,870
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	488
現金及び現金同等物の期首残高	30,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,698

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

事業		期	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
			金額(百万円)	百分比 (%)
制御事業	売上高		61,964	
	外部顧客に対する売上高		61,963	81.4
	セグメント間の内部売上高		0	
	営業費用		60,867	
	営業利益		1,098	—
計測機器事業	売上高		6,472	
	外部顧客に対する売上高		6,472	8.5
	セグメント間の内部売上高		—	
	営業費用		10,313	
	営業損失		△3,842	—
新事業その他	売上高		7,708	
	外部顧客に対する売上高		7,708	10.1
	セグメント間の内部売上高		—	
	営業費用		10,710	
	営業損失		△3,001	—
消去又は全社	売上高		(0)	
	外部顧客に対する売上高		—	
	セグメント間の内部売上高		(0)	
	営業費用		(0)	
	営業利益		—	
連結	売上高		76,143	
	外部顧客に対する売上高		76,143	100.0
	セグメント間の内部売上高		—	
	営業費用		81,889	
	営業損失		△5,745	—

事業		期	
		当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
		金額(百万円)	百分比 (%)
制御事業	売上高	218,067	
	外部顧客に対する売上高	218,050	79.9
	セグメント間の内部売上高	16	
	営業費用	200,471	
	営業利益	17,596	—
計測機器事業	売上高	27,499	
	外部顧客に対する売上高	27,499	10.1
	セグメント間の内部売上高	—	
	営業費用	36,890	
	営業損失	△9,391	—
新事業その他	売上高	27,384	
	外部顧客に対する売上高	27,384	10.0
	セグメント間の内部売上高	—	
	営業費用	36,356	
	営業損失	△8,971	—
消去又は 全社	売上高	(16)	
	外部顧客に対する売上高	—	
	セグメント間の内部売上高	(16)	
	営業費用	(16)	
	営業利益	—	
連結	売上高	272,933	
	外部顧客に対する売上高	272,933	100.0
	セグメント間の内部売上高	—	
	営業費用	273,700	
	営業損失	△766	—

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、製品の系列、市場の類似性及び当社グループの損益集計区分を考慮し行っています。

2. これら事業区分に属する主要製品は次のとおりです。

事業区分	主要製品
制御事業	生産制御システム、流量計、差圧・圧力伝送器、プロセス分析計、プログラマブルコントローラ等
計測機器事業	半導体テストシステム、波形測定器、光通信関連測定器、信号発生器、電力・温度・圧力測定器等
新事業その他	光通信モジュール及びサブシステム、XYステージ、共焦点スキャナ、航空機用計器、航海関連機器、気象・水文観測機器等

b. 所在地別セグメント情報

所在地		期	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
			金額(百万円)	百分比 (%)
日本	売上高		44,292	
	外部顧客に対する売上高		32,186	42.3
	セグメント間の内部売上高		12,106	
	営業費用		52,272	
	営業損失		△7,980	—
アジア	売上高		22,359	
	外部顧客に対する売上高		17,201	22.6
	セグメント間の内部売上高		5,158	
	営業費用		21,134	
	営業利益		1,225	—
欧州	売上高		12,049	
	外部顧客に対する売上高		11,220	14.7
	セグメント間の内部売上高		828	
	営業費用		12,241	
	営業損失		△191	—
北米	売上高		6,762	
	外部顧客に対する売上高		6,611	8.7
	セグメント間の内部売上高		151	
	営業費用		6,680	
	営業利益		81	—
その他	売上高		9,083	
	外部顧客に対する売上高		8,923	11.7
	セグメント間の内部売上高		159	
	営業費用		8,463	
	営業利益		620	—
消去又は 全社	売上高		(18,403)	
	外部顧客に対する売上高		—	
	セグメント間の内部売上高		(18,403)	
	営業費用		(18,902)	
	営業利益		498	—
連結	売上高		76,143	
	外部顧客に対する売上高		76,143	100.0
	セグメント間の内部売上高		—	
	営業費用		81,889	
	営業損失		△5,745	—

所在地		期	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
			金額(百万円)	百分比 (%)
日本	売上高		167,218	
	外部顧客に対する売上高		125,430	46.0
	セグメント間の内部売上高		41,787	
	営業費用		178,145	
	営業損失		△10,927	—
アジア	売上高		78,028	
	外部顧客に対する売上高		58,994	21.6
	セグメント間の内部売上高		19,033	
	営業費用		72,834	
	営業利益		5,193	—
欧州	売上高		39,167	
	外部顧客に対する売上高		35,078	12.8
	セグメント間の内部売上高		4,088	
	営業費用		37,995	
	営業利益		1,171	—
北米	売上高		23,425	
	外部顧客に対する売上高		22,681	8.3
	セグメント間の内部売上高		743	
	営業費用		22,997	
	営業利益		427	—
その他	売上高		31,396	
	外部顧客に対する売上高		30,747	11.3
	セグメント間の内部売上高		648	
	営業費用		28,652	
	営業利益		2,743	—
消去又は 全社	売上高		(66,301)	
	外部顧客に対する売上高		—	
	セグメント間の内部売上高		(66,301)	
	営業費用		(66,926)	
	営業利益		624	—
連結	売上高		272,933	
	外部顧客に対する売上高		272,933	100.0
	セグメント間の内部売上高		—	
	営業費用		273,700	
	営業損失		△766	—

- (注) 1. 国又は地域は、地理的接近度により区分しています。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。
 (1) アジア シンガポール、中国、韓国等
 (2) 欧州 オランダ、フランス、イギリス、ドイツ等
 (3) 北米 米国、カナダ
 (4) その他 ブラジル、オーストラリア、中東等

c. 海外売上高

所在地	期	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)
アジア		17,987	23.6
欧州		8,001	10.5
北米		6,645	8.7
中東		7,798	10.3
その他		6,975	9.2
海外売上高合計		47,408	62.3
連結売上高		76,143	—

所在地	期	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)
アジア		63,959	23.4
欧州		28,430	10.4
北米		22,299	8.2
中東		22,666	8.3
その他		23,909	8.8
海外売上高合計		161,264	59.1
連結売上高		272,933	—

- (注) 1. 国又は地域は、地理的接近度により区分しています。
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。
 (1) アジア シンガポール、中国、韓国等
 (2) 欧州 オランダ、フランス、イギリス、ドイツ等
 (3) 北米 米国、カナダ
 (4) 中東 バーレーン、サウジアラビア等
 (5) その他 ブラジル、オーストラリア等
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。
 4. 当第3四半期連結会計期間より、中東の連結売上高に対する売上高比率が10%を超えたため、中東を別掲記載しています。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金額(百万円)
I 売上高	292,459
II 売上原価	185,889
売上総利益	106,569
III 販売費及び一般管理費	97,485
営業利益	9,083
IV 営業外収益	2,080
V 営業外費用	6,025
経常利益	5,139
VI 特別利益	1,488
VII 特別損失	2,249
税金等調整前四半期純利益	4,378
税金費用	2,093
少数株主利益(控除)	373
四半期純利益	1,910

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,378
減価償却費	16,941
賞与引当金の減少額	△12,058
売上債権の減少額	30,387
たな卸資産の増加額	△16,258
仕入債務の減少額	△7,278
その他	△3,152
小計	12,959
利息及び配当金の受取額	1,635
利息の支払額	△875
法人税等の支払及び還付額	△5,010
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,709
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△30,632
有形固定資産の売却による収入	1,326
無形固定資産の取得による支出	△6,918
投資有価証券の取得による支出	△6,851
投資有価証券の売却・償還による収入	2,506
その他	△1,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,285
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	11,199
コマーシャルペーパーの純増加額	20,000
長期借入による収入	25,510
社債の償還による支出	△20,000
配当金の支払額	△4,044
その他	△6,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,680
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	41
V 現金及び現金同等物の減少額	△7,853
VI 現金及び現金同等物の期首残高	38,178
VII 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	138
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	30,463

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

事業	期	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		対前年 同期比
		金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	増減 (百万円)
制御事業	売上高	216,760		218,067		1,307
	外部顧客に対する売上高	216,695	74.1	218,050	79.9	1,355
	セグメント間の内部売上高	65		16		△48
	営業費用	195,971		200,471		4,500
	営業利益	20,788	228.8	17,596	-	△3,192
計測機器事業	売上高	45,388		27,499		△17,889
	外部顧客に対する売上高	45,388	15.5	27,499	10.1	△17,889
	セグメント間の内部売上高	-		-		-
	営業費用	49,025		36,890		△12,135
新事業その他	売上高	30,376		27,384		△2,992
	外部顧客に対する売上高	30,376	10.4	27,384	10.0	△2,992
	セグメント間の内部売上高	-		-		-
	営業費用	38,444		36,356		△2,088
消去又は全社	売上高	(65)		(16)		
	外部顧客に対する売上高	-		-		
	セグメント間の内部売上高	(65)		(16)		
	営業費用	(65)		(16)		
連結	売上高	292,459		272,933		△19,525
	外部顧客に対する売上高	292,459	100.0	272,933	100.0	△19,525
	セグメント間の内部売上高	-		-		-
	営業費用	283,376		273,700		△9,675
	営業利益又は営業損失	9,083	100.0	△766	-	△9,850

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、製品の系列、市場の類似性及び当社グループの損益集計区分を考慮し行っています。

2. これら事業区分に属する主要製品は次のとおりです。

事業区分	主要製品
制御事業	生産制御システム、流量計、差圧・圧力伝送器、プロセス分析計、プログラマブルコントローラ等
計測機器事業	半導体テストシステム、波形測定器、光通信関連測定器、信号発生器、電力・温度・圧力測定器等
新事業その他	光通信モジュール及びサブシステム、XYステージ、共焦点スキャナ、航空機用計器、航海関連機器、気象・水文観測機器等

b. 所在地別セグメント情報

所在地		前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		対前年 同期比 増減 (百万円)
		金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	
日本	売上高	191,938		167,218		△24,719
	外部顧客に対する売上高	146,921	50.3	125,430	46.0	△21,490
	セグメント間の内部売上高	45,016		41,787		△3,228
	営業費用	193,508		178,145		△15,362
	営業利益又は営業損失	△1,569	△17.3	△10,927	—	△9,357
アジア	売上高	82,758		78,028		△4,730
	外部顧客に対する売上高	63,150	21.6	58,994	21.6	△4,156
	セグメント間の内部売上高	19,607		19,033		△573
	営業費用	77,363		72,834		△4,529
	営業利益	5,394	59.4	5,193	—	△201
欧州	売上高	37,649		39,167		1,517
	外部顧客に対する売上高	33,765	11.5	35,078	12.8	1,313
	セグメント間の内部売上高	3,883		4,088		204
	営業費用	34,528		37,995		3,467
	営業利益	3,120	34.3	1,171	—	△1,949
北米	売上高	23,266		23,425		158
	外部顧客に対する売上高	22,618	7.7	22,681	8.3	62
	セグメント間の内部売上高	647		743		95
	営業費用	22,865		22,997		132
	営業利益	400	4.4	427	—	26
その他	売上高	26,818		31,396		4,578
	外部顧客に対する売上高	26,001	8.9	30,747	11.3	4,746
	セグメント間の内部売上高	816		648		△168
	営業費用	24,422		28,652		4,229
	営業利益	2,395	26.4	2,743	—	348
消去又は 全社	売上高	(69,971)		(66,301)		
	外部顧客に対する売上高	—		—		
	セグメント間の内部売上高	(69,971)		(66,301)		
	営業費用	(69,312)		(66,926)		
	営業利益	(658)	(7.2)	624	—	
連結	売上高	292,459		272,933		△19,525
	外部顧客に対する売上高	292,459	100.0	272,933	100.0	△19,525
	セグメント間の内部売上高	—		—		—
	営業費用	283,375		273,700		△9,675
	営業利益又は営業損失	9,083	100.0	△766	—	△9,850

- (注) 1. 国又は地域は、地理的接近度により区分しています。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。
 (1) アジア シンガポール、中国、韓国等
 (2) 欧州 オランダ、フランス、イギリス、ドイツ等
 (3) 北米 米国、カナダ
 (4) その他 ブラジル、オーストラリア、中東等

c. 海外売上高

所在地	期	前第3半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		対前年 同期比
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	増減金額 (百万円)
アジア		76,980	26.3	63,959	23.4	△13,021
欧州		36,953	12.6	28,430	10.4	△8,522
北米		23,667	8.1	22,299	8.2	△1,368
中東		14,568	5.0	22,666	8.3	8,097
その他		20,335	7.0	23,909	8.8	3,573
海外売上高合計		172,506	59.0	161,264	59.1	△11,241
連結売上高		292,459	—	272,933	—	△19,525

- (注) 1. 国又は地域は、地理的接近度により区分しています。
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。
 (1) アジア シンガポール、中国、韓国等
 (2) 欧州 オランダ、フランス、イギリス、ドイツ等
 (3) 北米 米国、カナダ
 (4) 中東 バーレーン、サウジアラビア等
 (5) その他 ブラジル、オーストラリア等
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。
 4. 当第3四半期連結会計期間より、中東の連結売上高に対する売上高比率が10%を超えたため、中東を別掲記載しています。

平成21年2月10日
横河電機株式会社

平成21年3月期 第3四半期連結決算情報

(単位:百万円)

	H19/12		H20/12		前年同期比	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比
売上高	292,459	—	272,933	—	△19,525	—
営業利益	9,083	3.1%	△766	△0.3%	△9,850	△3.4%
経常利益	5,139	1.8%	△5,902	△2.2%	△11,041	△4.0%
四半期純利益	1,910	0.7%	△37,171	△13.6%	△39,082	△14.3%
総資産	438,275		378,042		△60,232	
純資産	224,956		171,812		△53,144	
自己資本四半期純利益率	0.8%		△19.1%		△20.0%	
1株当たり四半期純利益	7.30円		△144.31円		△151.61円	
1株当たり純資産	857.09円		651.52円		△205.57円	
設備投資	29,739		21,188		△8,551	
減価償却費	16,941		15,773		△1,167	
研究開発費	32,017		28,884		△3,133	
期中平均為替レート						
米ドル	117.14円		102.48円		△14.66円	
ユーロ	163.56円		149.98円		△13.58円	

事業の種類別セグメント 受注高

(単位:百万円)

	H19/12	H20/12	H21/3 予想
制御事業	256,958	240,129	302,000
計測機器事業	42,539	27,210	35,000
新事業その他	39,506	30,822	46,000
合計	339,003	298,161	383,000

事業の種類別セグメント 売上高

(単位:百万円)

	H19/12	H20/12	H21/3 予想
制御事業	216,695	218,050	303,000
計測機器事業	45,388	27,499	36,000
新事業その他	30,376	27,384	41,000
合計	292,459	272,933	380,000

事業の種類別セグメント 営業利益

(単位:百万円)

	H19/12	H20/12	H21/3 予想
制御事業	20,788	17,596	27,000
計測機器事業	△3,637	△9,391	△16,000
新事業その他	△8,068	△8,971	△10,000
合計	9,083	△766	1,000